

岐阜県の プラスチック

新世紀初の「新年互礼会」を盛大に開催
記念講演は「プラスチックリサイクルの現状」について
平成12年度前期と平成11年度後期の検定合格者は39人
組合員の工場で「成形用金型」「ブロー成形」の後期技能検定行なう
平成11年のプラスチック製品出荷額は3,291億円の新記録
事務局だより

新年互礼会を開き、恒例の技能検定合格者伝達式と講演会を行なう



新世紀初の“新年互礼会”を開く 業界の飛躍と発展めざし懇親 リサイクルの現状について講演も

工業組合は1月27日午後、ホテルグランヴェール岐山で『新年互礼会』を開催した。席上、来賓や賛助会員を代表して3氏から「新世紀を迎え、プラスチック業界の飛躍と発展を期待する」と激励を受けたり、社団法人プラスチック処理促進協会広報部長の横田克己さんを招いて「プラスチックリサイクルの現状」について講演（要旨は5頁に掲載）を聞くなど、一同和やかに交流し懇親を深めた。

また、恒例になった『技能検定合格証書伝達式』を行い、平成12年度前期の「射出成形作業」で合格した20人に証書を伝達、また、平成11年度後期の「成形用金型」と「ブロー成形」で合格した19人を披露、合格者の前途を祝った。（合格した39人は4頁で紹介）

90人が一堂に参加 3氏が激励の言葉

新世紀最初の新年互礼会に参加した組合員は45人、これに来賓、賛助会員、技能検定合格者が加わる総勢90人が一堂に集まり、賑やかに開いた。互礼会は児玉俊一副理事長の「今年は巳年、巳は脱皮しながら成長を遂げる生きもので、プラスチック業界もこれに習い、前世紀の古い衣を脱ぎ捨て、新世紀を邁進していきたい」とする開会の言葉に続き、大松利幸理事長のあいさつで始まった。

また、来賓を代表し新家武彦県農林商工部商工局長（代理）と森本安彦県中小企業団体中央会専務理事、さらに賛助会員を代表し大日精化工業(株)名古屋営業所の中田統洋部長から激励のごあいさつがあった。続いて技能検定合格証書



来賓や賛助会員を招いた新年互礼会であいさつする大松理事長

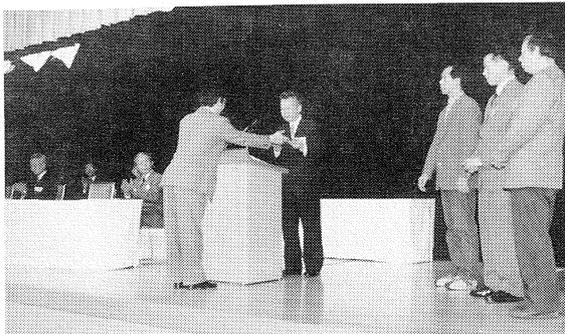
伝達式に入り、平成12年に合格した1級5人、2級34人の検定合格を祝った。

「会員増強し業界振興」

「大松利幸理事長の新年ごあいさつ」

このところ天気予報が当たらないのと同じように、景気予測も政府の“緩やかな回復”という楽観的な見通しは外れ、反対の暗くて厳しい方向に進んでいるようです。業界の景況は一部

伝達を受ける1級合格者



企業を除き“曇りか雨”。とくに消費物資に関係する中小企業は“大雨か雪”といえます。

実際にアメリカの景気は減速し始め、その影響をもろに受ける日本経済の先行きは明らかです。公共事業は抑えられ、経済の血といわれる金融業界も不調、どう見ても新年の経済見通しは暗くなります。政府の楽観的な見方で経営すると天候のように急変するので、細心の注意を払って企業経営に取り組まねばなりません。

こうした経済環境に、工業組合の運営も留意したい。県内のプラスチック関連企業は900にも達しています。組合あげて会員増強を図り、手を携えて厳しい時代を乗り越えていきたい。県としても「停滞気味の地場産業の振興に力を入れたい」と話しておられるので、技術支援や政府支援を受け入れられる組合母体を整え、一致団結してプラスチック業界を盛り上げたい。

「企業の情報化を推進」

┌ 新家武彦 岐阜県農林商工部商工局長 ─┐

岐阜県は21世紀の初頭を「飛躍の10年」とし産業経済を活性化させるための各種の施策をキメ細かく展開してまいります。

なかでも情報化の進展に対しては、安心・安全・便利・快適・活力の五つのネットワークづくりを進め、県民が気軽にITを活用できる情報基盤の整備に取り組みたい。とくにソフトピアジャパン、VRテクノセンターを中心に、世界に誇る情報価値生産の場をめざす「スイート

2級合格者への伝達



バレー構想」を推進していきます。

さらに中小企業における情報化投資やインフラ整備の支援、ソフトピアジャパンなどでの人材研修、インキュベートルームの活用など、企業情報化への具体的な支援を展開していく方針である。(高木巧 経営指導課長代読)

「未来はプラス志向で」

┌ 大日精化工業(株)中田統洋 営業部長 ─┐

新時代の荒波を越える策として私は“三つのかく”を念頭において進みたい。それは「恥をかく」「汗をかく」「手紙をかく」ということで、失敗していいから率先して汗をかいて働き回ること。また、IT時代、インターネットで簡単に資料が手に入り、電子メールで情報交換ができて、ビジネスはフェースとフェースで義理と人情と交流は欠かせません。成形加工業界と一層の連携を深め、新しい未来の来ることを信じてプラス志向で進んでいきたい。

「組織あげ経営革新を」

┌ 森本安彦 中小企業団体中央会専務 ─┐

21世紀はまさに「スピードの時代」で、しかも、これまでの2倍も3倍ものスピードで駆け抜け「予想もしない数々の現象が起きる」と予測しなければなりません。

この新世紀に、中小企業が立ち向かい生き残るには「組織をあげて戦略をたて、組織をあげて経営革新」に取り組まねばならないと思う。

互礼会の席上で検定合格者を励ます

平成12年度前期と平成11年度後期の合格者39人

工業組合は新年互礼会の席上で『技能検定合格証書伝達式』を行い、技能検定合格者の前途を祝った。

伝達の対象は平成12年に行なわれた検定試験に合格した39人。このうち宮川好明、遠藤益夫、早川伸人、神谷和志の四人のみなさんは成績優秀で開発協会長賞を受賞した。



組合役員を囲む合格者一同

〈射出成形作業・1級合格者・3人〉

八代 幸路 (岐阜プラスチック工業株)
 遠藤 益夫 (岐阜プラスチック工業株)
 広沢 正 (ムトー精工株)

〈射出成形作業・2級合格者・17人〉

早野 英威 (コダマ樹脂工業株)
 中居 均哉 (コダマ樹脂工業株)
 早川 伸人 (有アイゼン)
 山内 敏治 (大朝理科学巧業株)
 神谷 和志 (岐阜プラスチック工業株)
 浅井 広美 (岐阜プラスチック工業株)
 佐々木淳好 (岐阜プラスチック工業株)
 竹井 嵩 (岐阜プラスチック工業株)
 小林 裕明 (岐阜プラスチック工業株)
 尾関 敏文 (岐阜プラスチック工業株)
 小島 博明 (ムトー精工株)
 長尾 正晴 (ムトー精工株)
 田内 昌昭 (ムトー精工株)
 沼崎 静男 (ムトー精工株)
 國定 良 (ムトー精工株)
 石谷 善人 (アバンステクノ株)
 渡辺 和昌 (岐阜プラスチック工業株)

〈プラスチック金型・1級合格者・2人〉

磯野 靖彦 (ムトー精工株)
 松原 浩之 (ムトー精工株)

〈プラスチック金型・2級合格者・2人〉

中山 昌季 (ムトー精工株)
 小川 尚寿 (ムトー精工株)

〈ブロー成形作業・2級合格者・15人〉

田中 敏行 (コダマ樹脂工業株)
 大前 和樹 (コダマ樹脂工業株)
 西村 正洋 (コダマ樹脂工業株)
 宮川 好明 (コダマ樹脂工業株)
 鈴木 康弘 (コダマ樹脂工業株)
 星 則男 (コダマ樹脂工業株)
 太田 英明 (コダマ樹脂工業株)
 石井 正弘 (コダマ樹脂工業株)
 森 正樹 (コダマ樹脂工業株)
 白井 純一 (コダマ樹脂工業株)
 高木 貴人 (コダマ樹脂工業株)
 原田 恵作 (コダマ樹脂工業株)
 竹中 健 (コダマ樹脂工業株)
 岩田 昇 (コダマ樹脂工業株)
 岩田 裕幸 (コダマ樹脂工業株)

記念講演『プラスチックリサイクルの現状』を聞く

「マテリアルリサイクルが最優先」

—— プラ処理促進協会の横田克己部長の話 ——

このうち国内樹脂製品の消費量は1,020万トンのぼる。製品に

工業組合が行なった新年互礼会の第二幕は記念講演会。講師は社団法人・プラスチック処理促進協会の横田克己広報部長を招き「プラスチックリサイクルの現状」について話を聞いた。とくに工業組合が実施中の社会要請対応円滑化支援事業に参考になる「プラスチック製品の生産—廃棄—最資源化—処理処分」にいたるわが国の現状」を詳しく話してもらった。次は講演内容の一部をピックアップしてみた。

「当協会は1971年に社団法人・プラスチック処理研究協会として設立、いらい30年間にわたり廃プラを適切に処理し、資源として有効利用するシステムを確立する研究開発を行ってきた。この間、貯えた数多くの技術開発や調査の事例・成果についてはFAX、ホームページを通じて公開しており、企業活動に役立ててほしい」

「まず、わが国の廃棄物がどんな状況にあるかを見ると、1998年調査時点の樹脂生産量はピーク時よりやや減少、1,391万トで

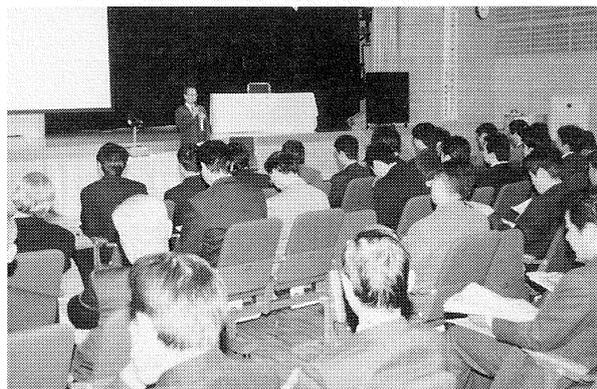
なり使用済みとなった廃棄物排出量は900万ト、これに生産・加工ロスを加えた廃プラ総排出量は984万トとなる。これが社会の関心事で、廃プラ984万トのうち435万ト、44%が有効活用され、残る549万ト、56%が未利用の廃プラである。

「プラスチック廃棄物の処理方法は埋立て33%、焼却54%（発電付き焼却、熱利用焼却と単純焼却との和）固形燃料1%、再生利用12%に分かれる。再生率が低いのは種類が多いうえ、混ぜて一括再生処理ができないからで、再生利用は分別しやすい産業分野のものに限られている」

「法律上でリサイクルを再商品化と定めている。その再商品化は①マテリアルリサイクル②サーマルリサイクル——に分けられる。ペットボトルや発泡樹脂のように、材料へのリサイクルを狭義のマテリアルリサイクルとし、広くはケミカルリサイクルもこの中に入る。高炉原料化やガス化、コークス炉により化学工業用原料として使う方法が急速に進んできたからである」

「サーマルリサイクルの方法は、セメントキルンの燃料や固形燃料化してボイラーの熱源とするもの。世の中にはプラスチックはプラスチックに還元し、再利用するのが最適とする考え方が定着しているからで熱利用はあまり歓迎されていない」

（廃プラ処理と法律については省略。なお、講演資料は工業組合事務局まで）



廃プラリサイクルで講演する横田さん

後期技能検定試験

組合員の工場で実施

「成形用金型」と「ブロー成形」

工業組合は県能力開発協会から「プラスチック成形用金型作業」と「ブロー成形作業」の技能検定実技試験を受託、実施した。いずれも平成12年度後期の検定試験で、2作業とも組合員企業の工場施設を使って行なった。

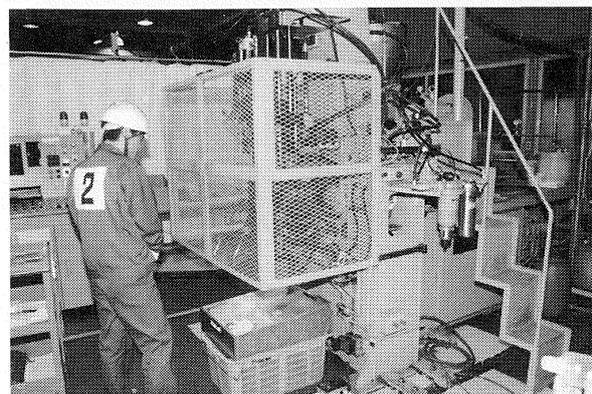
ムトー精工(株)で成形用金型の検定

成形用金型作業は、昨年末12月9日、各務原市鷺沼川崎町にあるムトー精工(株)本社の金型工場で行った。受検者は1級2人、2級2人の4人で昨年より少なかった。

検定内容は1級が「成形用金型に必要なテーパ加工、R加工、溝加工の作業要素を盛り込んだ課題を、堅フライス盤の手動操作と手加工で、4時間30分以内に製作」する。2級は「成形用金型に必要なR加工、溝加工の作業要素を盛り込んだ課題を、堅フライス盤の手動操作と手加工で、4時間以内に製作」するもの。

コダマ樹脂(株)でブロー成形の検定

また、ブロー成形作業は1月17日から土日を除く11日間、神戸町末守にあるコダマ樹脂工業



「金型」(上)「ブロー」(下)の実技検定会場(株)の本社ブロー工場で行った。受検者は1級5人、2級16人の合計21人。

検定内容は1級が「2種類の熱可塑性樹脂を用い、ブロー成形機によりボトルを製作し、成形品の内容量と成形収縮率計算票及び材料歩留まり率計算票を製作」する。2級は「2種類の熱可塑性樹脂を用い、ブロー成形機によりボトルを2時間30分以内に製作」するもの。

なお、合格発表は3月23日に行われる。



県庁の展示コーナーを一新

工業組合は、岐阜県庁ロビー「地場産品展示コーナー」のプラスチック製品の展示替え(写真左)を行なった。今回の展示製品は、組合員4社の完成品ばかり約30点で、刃物など他の地場産品と並んで1ケースに陳列した。次回の展示希望についてはご連絡を。

出荷額3,291億余円の新記録

平成11年のプラスチック製品製造業

平成4年のピーク上回る成長

岐阜県がまとめた『平成11年工業統計』によると、プラスチック製品を製造する事業所は879事業所、従業者数は1万3,374人、年間製造品出荷額は3,291億800万円を記録した。

いぜん低迷する景気動向の中で、県産業の製造品出荷額は22産業中17産業も減少したのかかわらず、プラスチック製造業は堅実に増加して3千億円台を維持、しかも平成4年の生産出荷のピークを超えるなど、県の主力産業として確固たる成長を遂げている。

法人対個人の比率は 法人が大きく上回る

平成11年の工業統計調査は最新の内容で、前年調査の平成10年の調査実績と比較すると。

《事業所数》平成11年末のプラスチック製品製造事業所は、17事業所減の879事業所。

組織別にみると会社法人が9減の462事業所、個人事業所が32減の417事業所であった。平成10年調査で法人と個人の比率が逆転、法人が多くなったが、今回調査ではさらにこの傾向が強まり、法人事業所が個人事業所を45事業所も上回った。

岐阜県プラスチック業界の規模

(平成11年工業統計調査から)

- ◎事業所数＝879事業所
(会社法人462、個人417)
- ◎従業者数＝13,374人
(男7,689人、女5,048人)
(個人事業主と家族637人)
- ◎製造品出荷額＝3,291億800万円
(全県出荷額のウエートは6.6%)
(県内産業別の順位では第6位)
(1人当たり労働生産性は2,460
万円で、県平均より385万円高)
- ◎付加価値額＝1,347億8,658万円
(1人当たり付加価値額1,008万円)
(県産業平均付加価値額837万円)

岐阜県製造業の推移

| 区分 | 事業所数 | | 従業者数 | | 製造品出荷額等 | | 付加価値額 | |
|----|------------|------|------------|------|------------|------|------------|------|
| | 対前年 増減率 | % | 対前年 増減率 | % | 対前年 増減率 | % | 対前年 増減率 | % |
| 元 | 26,593 | △0.9 | 284,267 | 1.0 | 5,269,276 | 10.2 | 2,106,710 | 7.2 |
| 2 | 26,287 | △1.2 | 287,677 | 1.2 | 5,756,168 | 9.2 | 2,300,274 | 9.2 |
| 3 | 26,549 | 1.0 | 291,125 | 1.2 | 6,067,478 | 5.4 | 2,410,653 | 4.8 |
| 4 | 26,220 | △1.2 | 288,225 | △1.0 | 5,920,039 | △2.4 | 2,367,917 | △1.8 |
| 5 | 25,150 | △4.1 | 277,400 | △3.8 | 5,508,173 | △7.0 | 2,221,891 | △6.2 |
| 6 | 24,069 | △4.3 | 266,963 | △3.8 | 5,195,058 | △5.7 | 2,100,584 | △5.5 |
| 7 | 23,334 | △3.1 | 260,292 | △2.5 | 5,273,902 | 1.5 | 2,185,396 | 4.0 |
| 8 | 22,800 | △2.3 | 258,281 | △0.8 | 5,399,140 | 2.4 | 2,229,834 | 2.0 |
| 9 | 22,088 | △3.1 | 254,028 | △1.6 | 5,588,762 | 3.5 | 2,229,082 | 0.0 |
| 10 | 22,479 | 1.8 | 250,564 | △1.4 | 5,301,475 | △5.1 | 2,107,132 | △5.5 |
| 11 | 21,292 | △5.3 | 239,613 | △4.4 | 4,972,340 | △6.2 | 2,006,336 | △4.8 |

一方、県内の製造業を営む事業所は2万1,292事業所。前年に比べると1,187事業所、5.3%減少している。大幅減少の理由について県は「化学工業と木材・木製品製造でわずかに増加した以外はすべての業種で減少した。全体的には小規模事業所の減少で、とくに従業員9人以下規模

の減少が大半を占めている」という。

業界の常用労働者は増加

《従業員数》 プラスチック業界の従業員数（常用労働者）は1万3,374人で、わずかながら増加した。内訳は男子が7,689人、女子が5,048人、個人事業主及び家族従業員数が637人となる。男子、女子ともに常用労働者は増加したものの個人事業主及び家族労働者が減少した。

全県の従業員数は23万9,613人で、前年に比べて1万951人、4.4%も減少した。中規模事業所で4,813人減、小規模事業所で4,925人減となり、事業所の減少による影響が出ている。

従業員数が増加したのは輸送用機械器具とプラスチック製品の2業種だけで、とくに繊維製品の割合が高い岐阜地域と、窯業・土石製品の多い東濃西部地域の減少率が高かった。

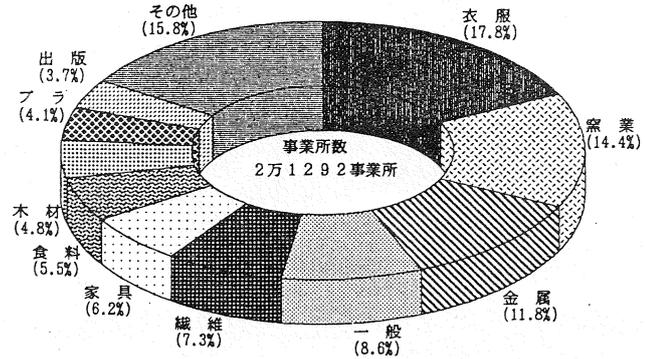
構成比6.6%、順位6位

《製造品出荷額》 プラスチック業界の製造品出荷額は3,291億800万円、前年に比べ68億円、2.1%伸ばし、これまでの生産出荷のピークである平成4年（3,271億円）の出荷額を20億円上回る新記録となった。

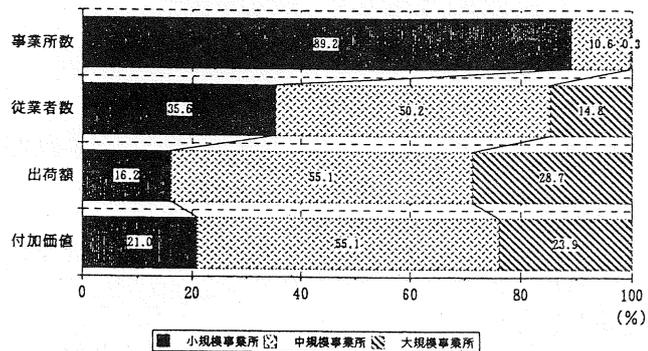
県全体に占める構成比は、前年の6.1%から6.6%へと膨らんだ。県内各産業が低迷する景気の中で、22業種中17業種が減少したのにもかかわらず、プラスチック成形加工業界は堅実な成長を遂げていることがわかる。

また、プラスチック製造業の労働生産性（従業員1人当たり製造品出荷額）は2,460万円と

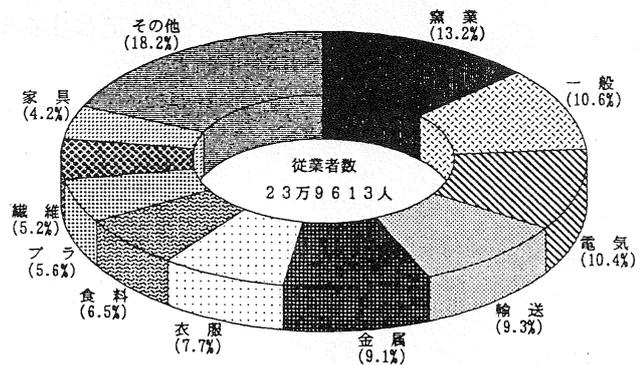
産業別事業所数の構成比



従業員規模別構成比の状況



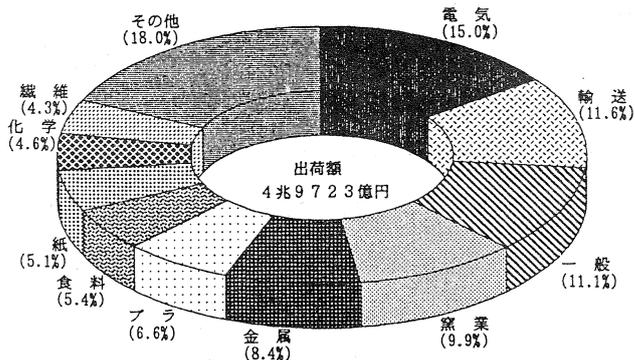
産業別従業員数の構成比



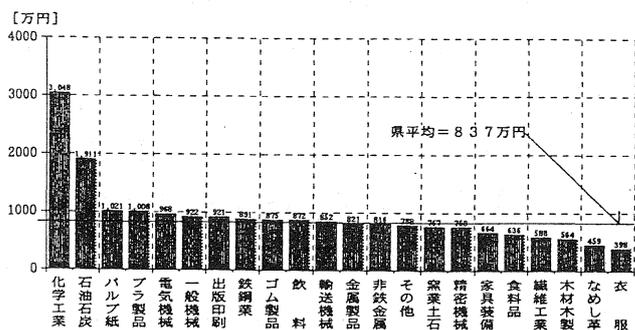
なり、県平均の2,075万円を385万円上回った。

この結果、産業別順位は①電気機械器具②輸送用機械器具③一般機械器具④窯業・土石製品製造⑤金属製品⑥プラスチック製品⑦食料品製造⑧パルプ・紙・紙加工品⑨化学工業⑩繊維工業⑪衣服・その他の繊維工業⑫家具・装備品⑬出版・印刷・同関連産業⑭木材・木製品⑮鉄鋼

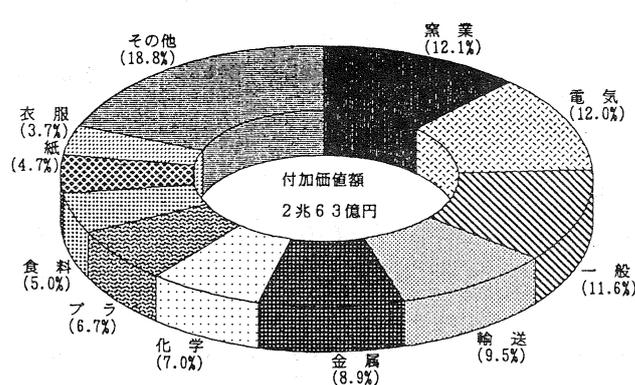
産業別製造品出荷額の構成比



付加価値生産性の産業別順位



産業別付加価値額の構成比



業——で、プラスチックは岐阜県7大産業の地位を確実なものにしている。

全県出荷額は5兆円の台を割る

全県の製造品出荷額は4兆9,723億円で、前年に比べ3,291億円、6.2%の減少となった。平成6年から徐々に盛り返してきた全県の製造品

出荷額は、景気低迷の波には逆らえず、再び5兆円の台を割ってしまった。

産業別にみると、一般機械器具、電気機械器具の減少が著しかった。

付加価値額1千万円台に

《付加価値額と生産性》 プラスチック製造業界の生産加工能力を示す付加価値額（製造品出荷額から加工賃収入額と修理料収入額を差し引いた額）は1,347億円8,658万円で、前年に比べると44億3,665万円増加した。

さらに付加価値生産性（従業者1人当たり付加価値額）は1千万円台の台を超えて1,008万円となった。これも県平均837万円を171万円も上回った。

付加価値額は16業種で減少

平成11年の県全体の付加価値額は2兆63億円。前年にくらべると1,008億円、4.8%も減少し、3年連続の減少となった。産業別には一般機械器具、電気機械器具の減少が目立ち、次いで繊維工業はじめ16業種が減少、増加したのは化学工業、パルプ・紙・紙加工工業、プラスチック製品など6業種。

県全体の付加価値額を従業者の規模別にみると、中規模、小規模事業所が減少し、大規模事業所がわずかながら

増加した。地域別では、岐阜地域、大垣地域、中濃地域、可茂地域、東濃西部をはじめ7地域で減少し、中津川・恵那地域、郡上地域、益田地域など3地域で増加した。

また、県全体の労働生産性（従業員1人当たり製造品出荷額）は2,075万円となり、前年に比べて41万円、1.9%の減少になった。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□新年互礼会へのご出席ありがとう□

新世紀初の「新年互礼会」にご出席いただきありがとうございました。多数の組合員に、ご来賓、賛助会員、技能検定合格者を迎えての互礼会となり、にぎやかに交流と親睦を深めることができました。

懇親の席上では「緩やかながら景気は回復」の明るいことば、この反面「これまでどおり混沌としていた景気が続く」「仕事の量が出るが利益は上がらない」の暗い話も聞かれました。迎えた新世紀、持ち前の業界の活力で「希望の年」にしたいものです。

□アクティブGで、オリベウイーク□

県産業文化振興事業団は2月26日から3月4日まで、JR岐阜駅の高架下のアクティブGでデザイン展「オリベウイーク」を開催します。郷土の先人、古田織部の自由奔放な理念を県産品の振興に役立てていくのがねらいで、プラスチックデザイン協会も協力しております。

会場はアクティブGの「オリベスク&ペトログリフ」と「ショールームギャラリー」で、展示品はオリベイズムを取り入れてデザインされた地場産品、工芸品、生活用品さらに新製品で

出品準備をしている組合員企業も数社あります。また、期間中はデザイン開発に関するイベントがありますので、見学してください。

□4月から雇用保険が拡大されます□

4月1日から雇用保険制度の改正で、適用が拡大されるのは「登録型派遣労働者」と「パートタイム労働者」が対象です。適用基準が緩和撤廃され、その結果、適用の拡大となります。

改正の要点は①登録型派遣労働者の適用基準緩和＝年収90万円以上の適用要件が撤廃され、1ヵ月11日以上就労する場合の適用要件がなくなる。同じ派遣元から反復継続して1年以上派遣されることが見込まれる場合に適用される。②パートタイム労働者の適用基準緩和＝年収90万円の適用基準が撤廃され、適用拡大になる。新基準は1年以上の反復継続する就労者、1週20時間以上の就労者となっている。

岐阜県のプラスチック 2001年 第157号

平成13年1月31日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 高坂 貞夫

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE®

合成ゴムSBR

住友SBR®

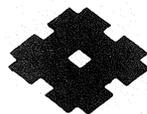
合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571



新世紀・新たな飛躍を...

2001年1月

岐阜県プラスチック工業組合

役員一同

リスのプラスチック
岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松 利幸

本社 岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
 〒500-8833 ☎(058) 265-2233(代)
 生産本部 各務原市前渡東町4丁目222番地
 〒504-0922 ☎(0583) 86-9311(代)



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 俊一

本社 岐阜県安八郡神戸町末守377の1
 電話(0584)27-4141
 支店 東京、大阪
 営業所 本社、横井、福岡、仙台
 工場 本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ
 農業用ポリエチレンフィルム

TPK 株式会社 **東海ポリエチ工業所**

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中 〒501-6004
 TEL (058) 246-1313 番(代)
 FAX (058) 247-2411 番
 名古屋営業所 名古屋市西区城西5丁目5番4号 〒452-0841
 TEL (052) 521-9296 番(代)
 FAX (052) 532-1664 番
 浜松事務所 浜松市入野町6056 〒432-8061
 TEL (053) 447-2511 番(代)
 FAX (053) 447-4248 番



業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作
大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役社長 日比 勝次

本社 岐阜県大垣市大島町2丁目394番地
 TEL <0584>81-1347(代)
 営業所 名古屋市西区城西3-15-33
 TEL <052>932-3945(代)

アテカ工業株式会社

代表取締役社長 下野 利昭

■本社・工場 岐阜県関市下有知5601番地の1
 TEL(0575)24-2424 (代表)
 〒501-3217 FAX(0575)24-0567

ナイロン・ポリエステル・PP
 樹脂・再生加工製造
 高安株式会社 協力工場



加茂企業株式会社

代表取締役社長 万江 文雄

〒505-0016 美濃加茂市牧野1878
 TEL(0574)26-1335
 FAX(0574)25-8073

岐阜技研ポリマー
株式会社

代表取締役 篠田 哲

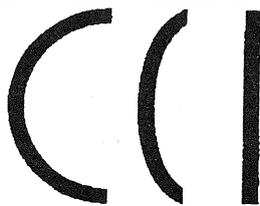
岐阜市岩地3-7-15
TEL <058> 246-2541
FAX <058> 246-2081

岐阜産研工業(株)

代表取締役 林 貢一郎

樹脂事業部 射出成型
ギフト事業部 ギフト商品卸販売

本社・工場
〒501-0555 岐阜県揖斐郡大野町
大字公郷六ノ坪1403番地
TEL (0585) 35-2511
FAX (0585) 35-2327



技術と工夫で
価値あるものを…

シーシーアイ株式会社

代表取締役社長 岡部 修二

岐阜県関市新迫間12
TEL(0575)24-4111 FAX(0575)24-4199

(有) 清水樹脂

代表取締役 清水 昭市

美濃市乙狩10-2
TEL 0575-37-2114
FAX 0575-37-2586

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器



天龍工業株式会社

代表取締役社長 福西 紀雄

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1番地
TEL <0583> 82-4111(代)



株式会社 ニッセキ

代表取締役 石原 良美

本社・工場
〒503-0641 海津郡海津町内記194
TEL(0584)53-0238
FAX(0584)53-0359

Hachiman-kasei co.,ltd.



八幡化成株式会社 way-be®

代表取締役 高垣 美代子

〒501-4204 岐阜県郡上郡八幡町旭182番地
TEL(0575)67-1175(代) FAX(0575)65-5150

各種プラスチックシート真空成型加工



パール化成株式会社
PEARL CHEMICAL PRODUCTS CO.,LTD.

代表取締役 杉山 元彦

本社工場 〒501-0473 岐阜県本巣郡真正町温井243-3
TEL (0583)24-9155(代) FAX (0583)24-6221
管理本部 〒500-8256 岐阜市八坂町40番地の1
岐阜工場 TEL (058)271-0861(代) FAX (058)275-0970



株式会社 **武藤化成工業所**

代表取締役 **武藤 幸平**

岐阜県武儀郡芸川町跡部井口781 〒501-2605
TEL <0575> 46-3711 FAX <0575> 46-2285



ムトー精工株式会社

代表取締役 **山口 功**

本社工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-60-1
TEL (0583) 71-1100(代) FAX (0583) 82-4365
岐阜工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-93
TEL (0583) 83-8311(代) FAX (0583) 83-1516
筑波工場 〒300-0315 茨城県敷郡阿見町香澄の里13-2
TEL (0298) 89-0800(代) FAX (0298) 89-0805



プラスチック原料販売
再生材料・着色・委託加工

有限会社 **久世樹脂工材**

代表取締役 **久世 幸博**

〒503-0008 大垣市楽田町3丁目29番地
TEL (0584) 81-6138 (代)
81-5785 夜間
FAX (0584) 81-2260



各種プラスチック製品製造加工
株式会社

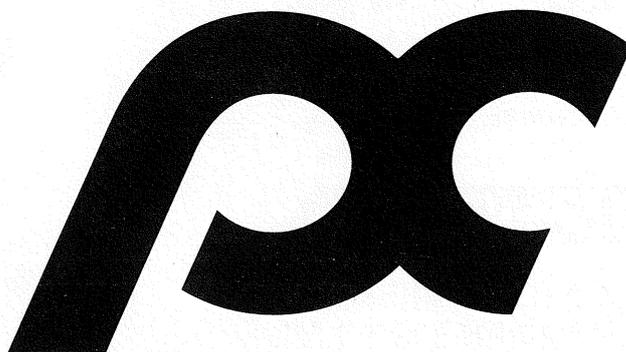
東海化成工業所

代表取締役 **宇野 隆**

岐阜県山県郡高富町大桑4370
TEL (0581) 27-2111
FAX (0581) 27-2915

創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有効の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック**
NOVATEC

NOVAは「新星」。
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・最良の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック (NOVATEC)」をお届けします。

高密度ポリエチレン——— **ノバテックHD**
低密度ポリエチレン——— **ノバテックLD**
直鎖状低密度ポリエチレン——— **ノバテックLL**
直鎖状低密度ポリエチレン——— **ノバテックC6**
エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂——— **ノバテックEVA**
ポリプロピレン——— **ノバテックPP**

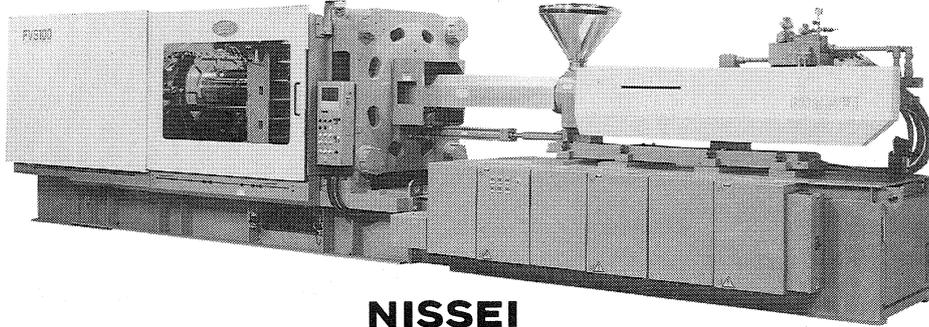
PC 日本ポリケム株式会社 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 〒100
TEL 03-3287-8010 FAX 03-3287-8040

時代を創る 時代に答える

私たちNISSEIは、射出成形機の専門メーカーとして、プラスチック成形技術の開発に努めてきました。
成形機を中心に金型・生産システムなど、技術の幅を広げ、国内トップメーカーとして業界をリードしています。
プラスチックの活用はますます裾野を広げる中、プラスチック応用技術を通して、活力ある産業社会、心豊かな生活文化の創造に貢献しています。
「人と暮らしに役立つ、新しいモノづくり」これが私たちの恒久のテーマです。

新たな発想で生まれた高性能・低価格大型機

FVシリーズ (FV9000, 9100, 9200, 9400)



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所／愛知県小牧市外堀2-167 ☎(0568)75-9555(代)

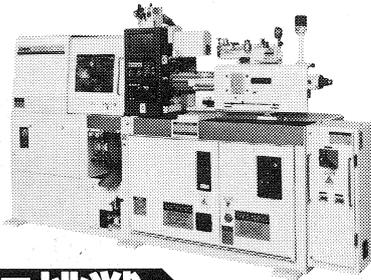
■岡崎出張所／愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎(0564)52-1430 ■三重出張所／三重県津市神戸横田203-4 ☎(059)224-0716

■本社・工場・研究開発センター／長野県坂城町南条2110 ☎(0268)82-3000(大代表)

■東京事務所 ■テクニカルセンター／本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪 ■営業所/全国11カ所/出張所/全国19カ所 ■海外サービスステーション/28カ所
●http://www.nisseijushi.co.jp

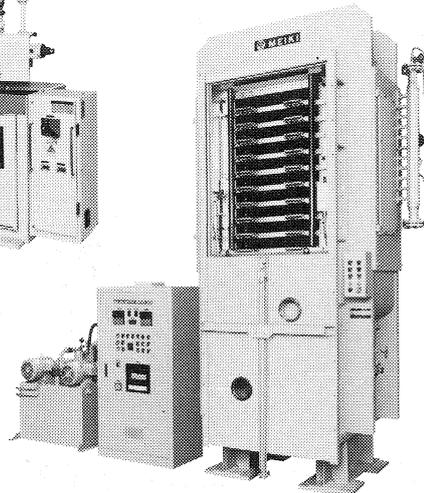
MEIKI

DVD専用機

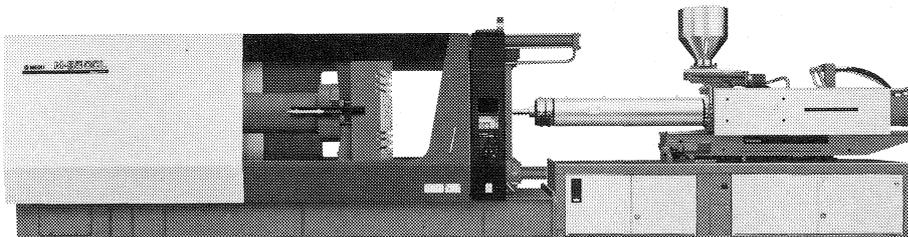


ハイテクノロジーに挑戦

プラスチック、光ディスク (DVD) 射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機

 株式会社 名機製作所

本社・工場 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>48-2111(代)
中部支店 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>47-2391(代)
岐阜出張所 〒501-61 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎<058>247-2674

化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

三菱化学

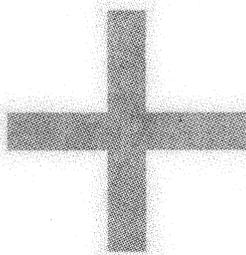
三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 千100(三菱ビルディング) Telephone:03-3283-6274(ダイヤルイン)

ShinEtsu

信越シリコーン

またひとつ、新機能。

【プラスアルファ】



ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつものヒラメキに出会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

■ 樹脂改質用シリコーン

オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に

*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターバレットもあります。

■ シリコーン離型剤

オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。

離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

■ シランカップリング剤

合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

■ シラン

セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

信越化学工業株式会社

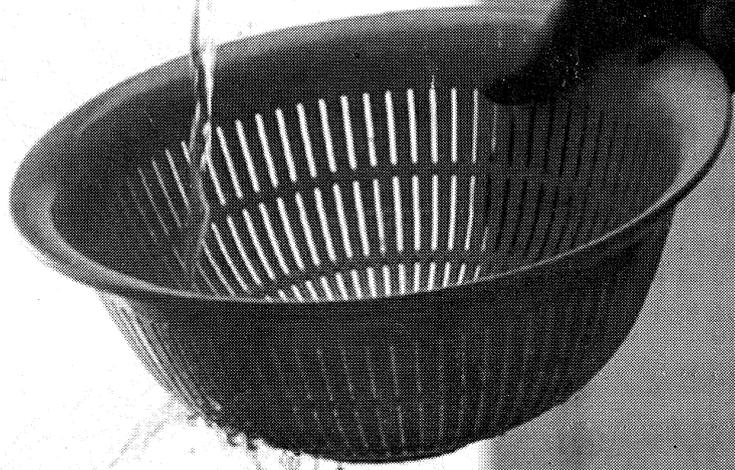
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-27-23 名古屋三井ビル東館

名古屋支店 シリコーン部 (052)581-6515

くらしのこだわり...

**HOME &
HOME**
-RISU BASIC-

リス
croissant®



より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア 3つのPoint

ポイント
2

洗い易いかたち

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい
特殊加工の素材を使用しています

ポイント
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

リス リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目2番地
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社
●リス株式会社
●リス興業株式会社